

## サーチライト With Pastor Jon 創世記 9 章 パート 4

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにしてはならない。」ヘブル 4 : 7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

### 創世記 9:18 - 20

18 箱舟から出て来たノアの息子たちは、セム、ハム、ヤフェテであった。ハムはカナンの父である。

19 この三人がノアの息子たちで、彼らから全世界の民が分かれ出た。

20 さて、ノアは農夫となり、ぶどう畑を作り始めた。

ここで、ノアはブドウ園を始めました。

信仰の巨人、嵐を通り過ぎ、信仰を持って 100 年伝道し続け、神の目に正しく、主の心になかったノア。

皆さん、物事が収束し、落ち着いた時、気をつけてください。

こういう時こそ、人は弱くなるものです。

事が“大体”上手く回り始め、ブドウ園を始めたその時、隙ができました。

物事が上手くいっている時こそ、注意しなければなりません。

私たちは、困難の中で嵐が吹き荒れる時、もっと祈り、みことばを学び、主を追い求めようとします。

だけど、上手くいき始めたら油断してしまう。

ノアがそうでした。

農夫になったノアは、**彼はぶどう酒を飲んで酔い、自分の天幕の中で裸になった。(創世記 9:21)**

ノアは酔っ払って、裸で、さらけ出していた。

酔いがもたらすもの、それは、自身をさらけ出すこと。

余計なことを言ってしまうたり、後になって、とんでもなく恥じるような行動をしてしまうのです。

### カナンの父ハムは、父の裸を見て、外にいた二人の兄弟に告げた。(創世記 9:22)

ハムは外に出て言いました。「父さんが酔っ払っている！」

酒酔いを見過ごさず公にして、父親の罪の状態を指摘したハムの行動は、明らかに大きな間違いです。

ハムは兄たちが、そのゴシップを面白おかしく話すことを期待して、父親の問題を公にしました。

「内密のスクープがあるんだ。最新ニュースだよ。聞きたいだろ？」ハムは、ばらした。

**それで、セムとヤフェテは上着を取って、自分たち二人の肩に掛け、うしろ向きに歩いて行って、父の裸をおおった。彼らは顔を背け、父の裸は見なかった。(創世記 9:23)**

二人は後ろ向きに歩いて、父の罪を見ないようにしました。

使徒パウロは、「**ですから、私たちは今後、肉にしたがって人を知ろうとはしません。**」(Ⅱコリント 5:16)

素晴らしい生き方ですね！

人を見る時は、イエス・キリストの義の衣で覆われた姿を見ることを“選ぶ”のです。

肉に従って人を知ろうとせず、人の裸を見ない。人の弱さにフォーカスしない。

パウロは、「キリストにあって、キリストの血で清められた姿を見る。私はこのように、人と関わります。」

素晴らしい言葉ですね。とても立派な見本です。

ここで、セムとヤフェテも同じことを選びました。

父親の罪を見たくなかったのも、肩に上着を掛けて後ろ向きに歩いて行った。

むしろ、ノアの罪を覆って、他の人が父親の罪を見ないようにした。

彼らは父親の罪を覆ったのです。

愛は覆う！

**愛は多くの罪をおおうからです。(Ⅰペテロ 4:8)**

Ⅰコリント 13 章でパウロが言ったように、愛は人のした悪を思わない。

それが愛です。

**ノアは酔いからさめ、末の息子が自分にしたことを知った。(創世記 9:24)**

ずっと罪の中にいて目が覚めた時、誰がそばにいてくれたのか、あわれみをもって、恵みを示してくれていたのか、誰がそうでなかったのか分かりますよね。

ノアも罪から目が覚め、末の息子が何をしたのかを知って言いました。

**「カナンはのろわれよ。兄たちの、しもべのしもべとなるように。」(創世記 9:25)**

ハムは父親ノアの罪を公にした人物。

ハムの息子がカナン、ノアの孫です。

なぜ、カナンが呪われるのか。

ノアの息子であるハムが罪を犯したら、ハムの息子のカナンに影響が及ぶのです。

もう一度、おさらいします。聞いて下さい。

もし私が罪を犯すと、家族に影響を受けます。

神が、私の罪のことで子供たちを罰するものではありません。

罪は呪いとなり、影響を及ぼしていくのです。

父親が子供を虐待していたら、その子が大きくなると、多くの場合どうなりますか？

その子もまた、自分の子供を虐待するようになる。

父親がアルコール中毒だとしたら、非常に多くの場合、その子供もアルコールの問題を抱えるようになる。

子供、もしくは子供たちに受け継がれていく。

これは、非常に深刻な問題です。

この事を知らない人々、理解できていない人たちに働きかけることは、クリスチャンである私たちの役割です。

罪を犯したら自分が代価を払えば全部済む、という問題ではありません。

そんな単純なものではなく、罪の影響は他の人に受け継がれていく。

ノアは言いました。

「ハムよ、息子であるおまえは罪を犯した。だから今後、おまえはその罪の実を見る。」

おまえの息子は呪われ、影響を受け、汚され、そのことでおまえは胸を痛めることになる。  
私の息子であるおまえの罪によって、おまえの息子のカナンは呪われる。」

### 創世記 9:26-27

**26 また言った。「ほむべきかな、セムの神、主。カナンは彼らのしもべとなるように。」**

**27 神がヤフェテを広げ、彼がセムの天幕に住むようになれ。カナンは彼らのしもべとなるように。」**

注目して欲しいのは、ハムと言う名前は、辞書にもよりますが、“黒”とか“暑い”という意味。

ハムの家族、ハム族は、アフリカの大部分の地域に定住しました。

長年クリスチャンでいるなら、このような本を読んだり、メッセージを聞いた事があるでしょう。

“黒人が長い間、様々な形で奴隷とされてきたのは、彼らが呪われているからだ。ハムの罪のためだ。”  
違います。

ハムは呪われていません。

呪われたのは息子のカナン。彼はカナン人の先祖です。

旧約聖書のカナン人を覚えていますか？

彼らはユダヤ人によって絶滅しました。

とても残虐で、汚れ、罪に満ち、病んでいたために、絶滅しなければならなかったのです。

悲しいほどに汚れて、罪深く、病んだ社会だったから。

それで神は言いました。「カナン人を、その苦しみから解放しなければならない。」

呪われたのはカナン人で、ハムではありません。

だから、そのような解説を聞いたなら、それは間違いです。

ハムではなく、彼の息子たちの一人、ハム族の一部であるカナン人が呪われたのです。

そして、カナン人は、今はもう存在しません。

呪われた民は、地上から絶滅しました。

次に 2 番目の息子。

#### 「ほむべきかな、セムの神、主。」(創世記 9:26)

セムはセム族・ユダヤ人 (semitic people) の先祖です。

“anti-semitism” (反ユダヤ主義) という言葉を聞いたことはありますか？

セム族は、今日では、ユダヤ人とアラブ人になります。

セム族、ユダヤ人とアラブ人は、主に中東に定住しました。

ハムの子孫は主にアフリカへ、セムの子孫は主に中東地域へ。

興味深いことに、セムは“栄光”という意味です。

セム族の神、ユダヤ人の神、それは、自動的にアブラハムの神。

大まかに言うと、中東地域の神。

この神が、セムの子孫に愛され、祝福され、たたえられる。

この神こそが賛美され、たたえられる真の生ける神。

アブラハム、イサク、ヤコブの神。

#### それから面白いのは、「神がヤフェテを“広げ”」(創世記 9:27)

ヤフェテは“支配者”という意味。

ヤフェテとその家族は、ヨーロッパに定住しました。

これに関しては 10 章で詳しくお話します。

驚くことに、聖書学者たちは数世紀前から、このように語っていました。

「何世紀にもわたって、ヨーロッパ人は非常に粗暴で原始的で、時代から取り残されているように見えているが、ここに『神がヤフェテを広げ』とあるので、ヤフェテの子孫は、最終的にはその通りになる。」

まさに、歴史を重ねるに従い、地政学的組織の出現と関連して、彼らは世界を支配するようになりました。

ということで、南にハム。ハムは呪われていないが、祝福もされていない。

栄光という意味を持つセム。世の栄光は当然、セムの神、主である。

ヤフェテは地政学的に世界を支配する。

そして、「**彼がセムの天幕に住むようになれ。**」(創世記 9:27)

あらゆる意味で、神はヤフェテを広げるが、それでも彼はセムの天幕に住む。

天幕は覆うもの。

つまり、神がヤフェテを広げ、高めるので、彼は支配するが、それでもセムの天幕で覆われる。

すなわち、ヤフェテは必ず、絶対に、セムの神で覆われなければならない。

彼らが元々礼拝していたケルトやあらゆる国の異様な神々、ヨーロッパ人が何世紀にもわたって洞窟や森で礼拝していた神々ではなく、セムの神、真の生ける神が覆いとなる。

それで、ヨーロッパは開花しました。

ヨーロッパの歴史を調べると、彼らが福音を受け入れ、諸国の神々や偶像、妖精や小人、異教のものを手放し、真の生ける神、セムの神を選び取っていったのを学ぶことができます。

そうして、ヨーロッパは霊的にセムの神の覆いの中に入って、大きく広がり、事実、支配したのです。

ということで、始まりの書、創世記。ここで舞台が整えられていく様子を見ましたね。

次に起こるのは、世界の人口増加、人種間の隔たりや差別問題、家族が離れていった理由、それぞれが向かう場所。

10 章、11 章は最も面白いところですから、次回一緒に学びましょう。

政治的にも社会的にも、色々なことが入り込み、そうして廃れていきます。

私たちは、その時代の潮流の中で、政治的にも、死刑の見解にも、食料の知識にも、「これは、こうあるべきだ。」と言いがちです。

しかし、今夜この会場を出る時、皆さんにはこのことを固く決心して欲しい。

「世がどうであれ、私は自分の価値観、信仰を、世のものから離して据える。」

神は何と言っているのか、みことばをくまなく調べ、各人が確認して欲しいのです。

すべきことを継続して行っている皆さんのような人たちの牧師でいられることは、この上ない喜びです。

私たちが信じるものは、その辺の文化人や、日曜日のトークショーで政治評論家が言うものとは違います。

私たちは聖書をしっかり調べ、神の助けと恵みによってベストを尽くして理解し、そのみことばが言っていることのみを信じています。

たとえ、それが政治的にそぐわないとしても。

たとえ、今の時代にはバカにされたとしても。

一時的に流行するものがあったとしても、結局のところ、「みことばは揺るぎないんだ」ということを選択する。

どの時代にも、どの文化にも、誰にでも通用することです。

時代や社会、政治がどうであれ、そんなものに、あなたの信念を左右されないで。

導師(グル)であれ、誰であれ、他の人々に、あなたの人生観を説き伏せさせないで。

そういうものは、出て来ては廃れるから。

みことばを調べて、こう言うのです。

「時代にそぐわないかもしれない。それでも力を尽くして理解したのは、これが神の示されたことだということ。私はそれに従って歩むことを選ぶ。」

もし、「私はみことばの道に行く。みことばを学び、それに耳を傾ける。たとえ周りに理解されなくても、周りから孤立しても、そうすることを選ぶ。」と言うなら、みことばを朝夕口ずさみ、みことばを生きる人となるでしょう。なぜなら、このことを知っているから。

### 詩篇 1:2-3

**2 そのおしえを喜びとし 昼も夜も そのおしえを口ずさむ人**

**3 その人は 流れのほとりに植えられた木。**

**時が来ると実を結び その葉は枯れず そのなすことはすべて栄える。**

その人は、文化的な干ばつが来ても枯れることはありません。

繁栄を望むなら、永遠の祝福を願うなら、今しているようにみことばを学び、みことばが示すことを全ての土台とし、信じて行動することをやり続けなさい。

そうすれば上手くいきます。

父よ、この教えが私の人生に、この教会に、反映されますように。

あなたのみことばに聞き、行動することを選び取り、実行できますように。

父よ、私は今日、とても感謝しています。

甘い香り、全焼のいけにえとして献げられた神の子羊、あなたの御子に。

私たちは、それがいけないことだと分かっているのに、罪に走ってしまう自分の性（さが）を知っています。

使徒パウロはこう言いました。

**私には、自分のしていることが分かりません。**

**自分がしたいと願うことはせずに、むしろ自分が憎んでいることを行っているからです。(ローマ 7:15)**

**だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。(ローマ 7:24)**

**私たちの主イエス・キリストを通して、神に感謝します。(ローマ 7:25)**

私も、救い主の甘い香り、献げて下さった父、あなたの御子イエスに感謝します。

イエスの犠牲によって、私たちは裁きを免れるのです。

カルバリーの丘でなされたことの香りによって、悪臭は消えました。

だから父よ、その事実から心から感謝します。

私たちを救って下さって、ありがとうございます。

贖い出された共同体として、みことばの光の中を歩むことができますように。

イエスの御名によってお祈りします。

あなたのみこころが、私たちの中で成されますように。

アーメン アーメン

**たましいに知識がないことは良くない。急ぎ足の者は罪に陥る。**

**人の愚かさは自らの道を滅ぼす。その心は主に向かって激しく怒る。(箴言 19:2-3)**